



大矢野中学校だより

「夢実現」

～可能性は無限、共に励まん～

令和8年度 第15号 令和8年8月5日(水)

文責 校長 松田 真也

夏休みも折り返しです。暦の上では「立秋」(8/7)になりますが、まだまだ暑い今年の夏です。残暑(酷暑)、お見舞い申し上げます。

そんな中、7月28日の大地震には、大変驚きました。余震も続き、怖い日々を過ごされているのではないのでしょうか。そんな酷暑と地震に悩まされる夏ですが、大中学生はどんな目標を立て、どんな経験をして、どれだけ成長したのでしょうか。会うのが楽しみです。夏休みも残り半分。登校日(8/19)や2学期の準備も進めましょう。今回は、**夏休み中盤**の様子をお伝えします。



暑さに負けず力強く咲く
百日草と鉄砲百合(上)、
そして、ガザニア(右)

7/27 学校保健委員会を開催 自分の健康状態を知り、次の行動へ!!

校区の小学校5校と合同で、児童生徒の健やかな成長を目指し、健康に関する問題点について話し合い、取組の推進を目的とした「**学校保健委員会**」を開催しました。各校の校長・養護教諭・栄養教諭・PTA代表で協議したり、学校医(島田先生)、学校歯科医(壽永先生)、学校薬剤師(本田先生)、保健師(桑畑さん、渡邊さん)の皆さんに専門的な助言をいただいたりしました。

①**健康診断の結果**からは、中学校では、**視力**は少し向上○、**肥満傾向**は増加▲、**むし歯の治療率**は向上○でした。**提案**として、「**視力**は眼科専門医の早期受診と目に優しい生活習慣づくり。**肥満**については、食習慣・運動習慣の指導。**むし歯**については、治療率100%を目指すと共に予防歯科に努める。」が示されました。むし歯の治療など専門医の受診は夏休み中にお願いします。

②「**心の健康**」については、スクールカウンセラーの石田祐子先生に、「子どもたちの心の健康とそれを支える大人の関わり方について」というテーマで講話をしていただきました。石田先生からは、「子どもが**安心**できる大人が近くにいることが大切で、その**安心感**が子どもたちの心を育てます。」と話されました。子どもたちが、自分の思いや感情を言葉で表現できるように育てたいものです。保護者・家族や教職員、地域が共に、子どもの声に**傾聴**してあげたいものです。



↑講話いただいた
石田祐子先生



暑さに負けず、力をつける夏。「駅伝の練習」は今日も・・・

夏休みの朝、グラウンドを黙々と走る選抜駅伝の生徒たち。少しでも涼しい時間にと7時10分から8時10分に練習しています。国道沿いの影になる歩道を走ることも。それでも厳しい暑さです。学校選抜の**駅伝チーム**として、郡市大会優勝、県大会出場を目指して長距離走の練習に励んでいます。力強く駆け抜けていく姿に元気をもらいます。そして、8時30分から10時30分までは**部活動**の時間です。新チームとなった1,2年生が暑い中、短い時間に集中して練習に励んでいます。この夏休みも**目標**に向けて**努力**する**大中学生**の姿がたくさん見られます。力をつける夏です。



朝日に汗を光らせ走る選手

夏休みも「書写錬成会」や「美術教室」で作品作りに励む

夏休み前半は、多目的教室や教室で、「書写（硬筆・毛筆）」や「美術（描画）」の作品作りに励む生徒も多くいました。書写は、「書写錬成会」として、谷上先生と池田先生に指導いただき、文化展に向けた作品作りに励んでいます。美術は、描画の塗り込みを松原先生に指導いただき、美術部の活動と共に取り組んでいます。部活動のあとに参加する生徒もいます。生徒に話を聞くと「家ではなかなか集中できないので、学校でみんなと一緒に書く・描くのがいいです。」「先生に教わりながらできるので学校でやっています。」「あと少しで完成です。なかなかいい出来です。」などと笑顔で答えてくれました。



集中して作品作りに励む
↑美術教室 と ↓書写錬成会の様子

じっくり時間をかけて、納得いくまで頑張って作品を創りあげるというのも、いいようです。夏休みにも頑張った作品は、文化展への出品にもつながります。



この夏に頑張ったみんなの秀作が、たくさん入選することを祈ります。

7/28 地震の爪痕、大きく・・・「地域交流会」も中止に。

7/28 午後4時半ごろ、熊本県を襲った地震。大きな揺れに怖さを覚えました。残っていた職員で、すぐに学校内の被害の状況を確認しました。図書室の本や理科室のガラス製品が落ちていたのが最も大きな被害で、所々にひび割れやコンクリートの破片落下が見られましたが、それ以上の被害はありませんでした。生徒の安否確認も行いましたが、倒れてきた家具で足を怪我した生徒が1名、家の一部破損が数軒ということでした。

また、地域の方々との交流と大矢野中のことをよく知っていただくことを目的に7/30に開催予定だった「地域交流会」を地震の影響で中止しました。今年度は、岩崎宏保教育長をはじめ、学校運営協議会、保護司会、更生保護女性会、民生委員、校区内の小学校・高校の校長先生方等、約30人の方々にお越しいただき、生徒たちと交流していただく予定でしたが、残念です。別の機会での交流を設定したいと思います。

→
落ちた
図書室
の
本が



↑壁が落ちたテニス部室と
試験管などが落ちた理科準備室

この夏の地震被害に対し、衷心よりお見舞い申し上げます。

今回の大きな地震で、10年前の熊本地震が思い出されます。何度も何度も繰り返し起こる余震に、ゆっくり寝られない人もいらっしゃるでしょう。電気やガス、水道といったライフラインが止まると、真夏には大変です。昨年夏の豪雨被害も、思い出されます。特に断水（時間制限）の影響が今回は大きいようです。道路や橋の通行止めはなく、何とか日常生活は維持されているのが、ありがたく感じます。ただ、本校の生徒にも被害に遭われた家もあります。大矢野中学校も一部、被害がありました。県内では大きな被害に遭われた地域もあります。少しでも早い復旧をお祈りいたします。